令和３年度第１回遠野市総合計画審議会

― 議事概要 ―

（開催要領）

1　日　時　令和３年８月 12 日（木）午後１時 30 分～午後３時 30 分

2　場　所　あえりあ遠野　交流ホール

3　出席者

(1) 委員

会長	及川　増徳	遠野市社会福祉協議会会長
副会長	新里　佳子	TK プロジェクト実行委員会監事
委員	小向　孝子	一般財団法人遠野市教育文化振興財団理事長
委員	松田　克之	遠野市消防団団長
委員	菊地セツ子	遠野市食生活改善推進員団体連絡協議会会長
委員	河野　好宣	遠野市体育協会会長
委員	佐藤　正市	遠野市民生児童委員協議会会長
委員	松田　希実	遠野市わらすっこ支援委員会委員長
委員	井手八重子	花巻農業協同組合理事
委員	濱田平八郎	遠野地方森林組合代表理事組合長
委員	三浦　芳昌	遠野市観光協会会長
委員	佐々木弘志	遠野商工会長
委員	小向　敏夫	遠野市校長会会長
委員	白金　恵一	遠野市ＰＴＡ連合会副会長
委員	赤坂　康紀	遠野市郷土芸能協議会会長
委員	内舘　充幸	遠野市区長連絡協議会会長
委員	佐藤　朝則	県南広域振興局経営企画部長
委員	佐々木栄洋	地域づくり団体
委員	鈴木　卓也	遠野市金融団
委員	相高　宏太	遠野ひまわり基金法律事務所弁護士
委員	佐々木浩章	遠野テレビ
欠席	千葉　　和	ＮＰＯ法人遠野エコネット代表
欠席	千葉　純子	一般社団法人遠野市医師会会長
欠席	小井口　幹	一般社団法人遠野青年会議所理事長
欠席	海老　糸子	遠野市地域婦人団体協議会会長

(2) 遠野市

市長	本田　敏秋
副市長	飛内　雅之

教育長	菊池　広親
総務企画部長	鈴木　英呂
経営管理担当部長	菊池　　享
健康福祉部長	菊池　　寿
医療連携特命部長	佐々木一富
子育て応援部長	磯谷　洋子
産業部長	阿部　順郎
環境整備部長	奥寺　国博
市民センター所長	新田　順子
多文化共生部長	石田　久男
消防本部消防長	三松　丈宏
教育部長	伊藤　貴行
会計管理者	鈴木　純子
総務企画部総務課長	白岩　克己
総務企画部財政担当課長	海老　寿子
総務企画部政策担当課長	新田　正宏

（議事次第）

1　開　会

2　市長あいさつ

3　会長あいさつ

4　委員及び職員紹介

5　報　告

(1) 遠野市過疎地域持続的発展計画（案）の策定について

(2) 令和３年度主要な施策の取組状況について

(3) 令和３年度岩手県知事への要望概要について

6　審　議

(1) 遠野市まちづくり指標の令和２年度及び前期基本計画期間（H28～R2 年度）の実績について

(2) 重要業績成果指標（KPI）令和２年度実績について

7　その他

8　閉　会

（議事概要）

１　開会

〇総務企画部長

本日はお忙しい中、遠野市総合計画審議会にご出席いただきましてまことにありがとうございます。ただ今から令和３年度第１回遠野市総合計画審議会を開会いたします。

私は総務企画部長の鈴木英呂と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本審議会は各団体から推薦いただきました委員の皆様で構成しておりますが、役員改選等により新たに推薦いただいた４名の委員をご紹介いたします。一般財団法人遠野市教育文化振興財団の小向孝子様、遠野市ＰＴＡ連合会の白金恵一様、岩手県県南広域振興局の佐藤朝則様、遠野市金融団の鈴木卓也様です。４名の皆様には前委員の後任として令和５年４月30日までの任期で委員を委嘱しております。どうぞよろしくお願いいたします。なお、お手元に辞令書を配布させていただいておりますので、ご了承いただきたいと思います。

２　市長あいさつ

〇遠野市長

皆さん、大変ご苦労様です。盆休みを前にして何かとお忙しいところ、このようにお集まりいただきまして、改めて感謝を申し上げます。今日も皆様に情報提供と思っておりますが、新型コロナウイルス感染症が県内でも大変な猛威をふるっており、昨日は40人の陽性反応者が確認されました。本日、３時過ぎから県では対策本部会議を開催し、県独自の緊急事態宣言を発出する予定との情報が入っております。

改めて緊張感をもって新型コロナウイルス感染症に向き合わなければならないと思っておりますので、委員の皆様の更なるご理解とご支援を頂きますように心からお願いを申し上げます。

市といたしましても、これまでに34回におよぶ対策本部会議を開きながら、地方創生臨時交付金という財源を活用し、感染予防対策さらには社会経済対策を両立させるよう、懸命に取り組んでいるところです。いつ誰がどこで感染してもおかしくない状況が続いており、基本に忠実に緊張感を持ちながらウイルスと向き合わなければならないと思っております。

本日は令和３年度の第１回目遠野市総合計画審議会をこのように開催をさせていただきました。先程、司会の方からもご紹介ありましたとおり４名の委員の方々が前任者の残任期間ということで、令和５年４月30日までの期間でございますが、この総合計画審議会の委員をお願いすることになりました。改めて、よろしくお願いを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の切り札と言われるワクチン接種ですが、これにも懸命に取り組んでまいりました。遠野市医師会の千葉会長さんは本日欠席でございますが、千葉会長さんを中心といたしまして、遠野市医師会の先生方、あるいは県立遠野病院の郷右近院長先生をはじめとする、多くのスタッフの皆様の大変なご協力いただきました。市としても職員が全庁あげて、副市長を中心とするチームワクチンを立ち上げ、連携を取りながらワクチン接種にも向き合いました。

65歳以上の高齢者の方々への接種は一応終了いたしました。対象者の94パーセントの方々に接種というそのような大きな取組を、事故もなくトラブルも少なく対応することができました。

一つのエピソードがあります。車いすで移動が困難な方に、お医者さんの方が車に出向いて接種をしていただいたという報告を受けております。そのような献身的な対応の中で94%を超える方々に

ワクチン接種をすることができたということにつきまして、改めてご協力いただいた皆様に感謝を申し上げなければならないかと思っております。

64 歳以下の一般接種の方も順次進めており、感染拡大防止対策といったものにしっかり向き合わなければならないと思っておりますので、改めてご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年度は第二次遠野市総合計画後期基本計画の策定を行う年度でありました。合計６回にわたってこの審議会を開催し、分科会を開催しながら多くの市政課題につきまして様々な角度からご検討いただきました。改めて、第二次遠野市総合計画後期 5 カ年計画を策定できましたことに、心から感謝とお礼を申し上げます。

本日は、平成 28 年度から令和２年度までの前期基本計画 5 カ年について、それぞれの立場から評価あるいは総括し、その結果等について皆様にお示しするものです。また、第２期遠野スタイル創造発展総合戦略、この計画の初年度となりますが、いうところの地方創生の流れを実現するため、「まち･ひと･しごと総合戦略」を立てながら取り組んでまいりました。これについてもしっかり検証し、進行管理をしていかなければなりません。

この後ご説明申し上げますが、この前期 5 カ年計画の最終年度である令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症が実績に大きく影響を及ぼしております。様々なイベントの中止や観光あるいは宿泊飲食業を中心として、目標を達成することができませんでした。

私も担当の方から報告を受け、仕方ないと思いながらも、本当に残念でありました。このコロナさえ無ければ、皆様のご協力の下に産業振興含め、教育や福祉などの分野においてもっといい形での数字を収めることができたのではないかと思っております。

しかし、それを必ず乗り越えなければなりません。それを後期 5 カ年計画にしっかりと繋げていかなければなりません。

後期 5 カ年計画は、本年度が初年度であります。このコロナというものを乗り越えるという気概の下に、市民一丸となってこの問題や様々な課題に向き合っていかなければならないと改めて思っているところです。委員の皆様のご理解とご支援をいただきますよう心からお願いを申し上げまして、冒頭のあいさつに代えさせていただきます。

３　会長あいさつ

〇及川増徳会長

大変ご苦労様です。本委員会の会長を仰せつかっております及川です。私の所属団体が、遠野市教育文化振興財団から遠野市社会福祉協議会に変わりました。引き続き、よろしくお願いいたします。また先程、本年度の役員改選や人事異動による新しい審議会委員のご紹介がありました。4 名の委員の皆様、よろしくお願いいたします。

本日の審議事項は、令和 2 年度と前期計画 5 カ年のまちづくり指標等の実績と、令和 2 年度の重要業績成果指標の実績についてであります。資料は事前配布されておりましたので、どうぞ忌憚のない感想やご意見を述べていただければと思います。

なお、当局において本審議会が終了後に別の行事が予定されているということで、終了予定の３時半頃に終了できるように進行をしてまいりたいと思っておりますので、各委員のご理解とご協力をお願いいたします。

４　委員及び職員紹介

〇総務企画部長

それでは、出席者の報告および日程の説明に入ります。本日委員の皆様の出席状況は 25 名中 21 名の皆様にご出席いただいております。欠席の報告に関しましては、５番千葉和委員、６番千葉純子委員、15 番小井口幹委員、20 番海老糸子委員となっております。なお市側の出席者につきましては、別添資料の座席表に記載しておりますので、紹介を省略させていただきます。

次に本日の配布資料について説明いたします。次第、座席表、報告資料Ｎｏ．2「令和 3 年度主要な施策等の取組状況について」、報告資料Ｎｏ．3「令和 3 年度岩手県知事への要望概要について」、さらには新型コロナウイルス感染症にかかる資料として、県内の感染状況等について、そして「岩手県警戒宣言実施中」という資料を追加で配布させていただいております、その他、事前送付をしております資料が本日の資料となります。不足がある場合はお申し出いただければと思います。

この後、報告事項と審議事項について資料に基づきご説明を申し上げます。それぞれ質疑の時間を設ける予定としておりますのでよろしくお願いいたします。なお終了時刻は遅くとも午後３時 30 分頃を予定しておりますので、ご協力をお願いいたします。

５　報告

〇総務企画部長

それでは、次第の５「報告」に入らせていただきます。ここからの進行は及川会長にお願いいたします。

〇及川増徳会長

それでは次第に従って進行してまいります。

次第５の報告に入ります。報告案件として３件用意されておりますので、順次事務局の説明をお願いいたします。なお質疑については３件全て報告いただいた後に、まとめてお受けしたいと思います。それでは事務局の説明お願いします。

〇政策担当課長

＊「遠野市過疎地域持続的発展計画（案）の策定について」を説明。

〇経営管理担当部長

＊「令和 3 年度主要な施策の取組状況について」中、下記３事業を説明。

「新型コロナ感染症対策に係る取組等の状況について」

「新型コロナワクチン接種取組状況について」

「遠野市光ファイバケーブル（ＦＴＴＨ）整備事業の概要」を説明。

〇多文化共生・本の森特命部長

＊「令和 3 年度主要な施策の取組状況について」中、「こども本の森遠野」を説明。

〇政策担当課長

＊「令和３年度岩手県知事への要望概要」を説明。

〇及川増徳会長

ただ今、３件の報告の説明が終りました。これら３件の説明事項に関して、質問等ございましたらばご発言をお願いいたします。

〇河野好宣委員

遠野市体育協会の河野です。先程、過疎債に関しての説明がありました。充当率 100%で交付税算定率 70%ということで、地方にとってはなくてはならない有利な起債だと思います。その中で、昨年からのコロナ感染の対応として、国の借金、いわゆる国債の新規発行額は、昨年 100 兆円を超えたという状況下にあります。

このような厳しい国の財政状況の中で、過疎債の発行がスムーズに行われるのかどうか懸念されるところです。その部分に関して、市ではどういう捉え方をしているか確認したいです。

〇総務企画部長

過疎債と一口に言っても、以前の過疎法による計画ですと、ハード事業いわゆる、「造る・建てる」事業での起債というものでしたが、前の計画かその一つ前のあたりから、ソフト部門についても起債をすることができることとなりました。「造る・建てる」事業だと、借金をしても、結果としてモノが見えるわけですが、過疎ソフト事業ということで、ソフトの部分にも起債をしても良いことになりました。とはいっても借金に変わりはないという考え方がございますし、そのへんはバランスを見ながらということなるわけですが、「造る・建てる」のハード部門、そして地域づくりとしてのソフトの部分に、バランス良く起債するという形になります。

今回、新しい過疎計画については、総合計画の内容と整合性をとりながら、健全財政 5 カ年計画も踏まえていくものとしています。

〇河野好宣委員

説明は分かりましたが、お尋ねをしたいのは、この計画の 5 カ年の間で国の財政そのものの方の心配はないのか。国はますます国債発行しながら対応してくれるのか、そういうところをどう捉えているかをお尋ねしたいと思います。

〇総務企画部長

新型コロナウイルス感染症の影響で、交付税も、今年度の配分はどうなるのか心配していたところでしたが、結果としては令和 2 年度とほぼ同額を交付税として交付していただける見込となりました。それらを鑑みても、国で予定している過疎債の枠というのは、同じぐらいの規模で予算化してもらえるものと考えています。

今後の新型コロナウイルス感染症の状況による影響もあるかもしれませんが、現在のところ約束通り、借り入れ枠は確保していただけるものと見込んでおります。今年度スタートしたこの特別措置法をですから、確実に財源が確保されるように期待をしたいと思います。

〇及川増徳会長

他になければ進行いたします。次に次第６の審議に入ります。

審議案件は２件でございますが、それぞれ関連がありますので、一括して審議することといたしま

す。事務局は審議案件１と２を一括して説明願います。

○政策担当課長

＊「遠野市まちづくり指標の令和２年度及び前期基本計画期間（H28～令和２年度）の実績について」「重要業績成果指標（KPI）令和２年度実績について」を説明。

○及川増徳会長

ただ今、審議事項２件について説明をいただきました、これから、ただ今の説明に関わってご質問と意見等ございましたらば発言をお願いいたします。初めに審議事項１番まちづくり指標に関わって、発言がございましたらば受けたいと思います。

○及川増徳会長

会長が最初に発言するのをお許し下さい、まちづくり指標について、53 番目の青年就農給付金支給者数ですが、評価として、令和元年度をもって受給が終了した経営体が４経営体あったということから未達成となったという記述があるのですが、この経営体の受給が終了したというのは計画期間が終わったと捉えたのですが、終了した後のこの経営体の経営の状況の情報がありましたら、お聞かせください。

○産業部長

就農給付金支給者数ですが、多くの方が農業に就農しているということで、すいませんが去年のデーターが手元にないのですが、大体畜産業とそれから園芸のほうに従事をするという形になっています。あと、所得要件が出てまいりまして、専従の計画を作り 350 万円の所得を到達するという計画を作らなければなりませんが、これがなかなか難しいということで、そこのところがネックになっています。まずは農業を始めながら、その 350 万所得を目指して、今がんばっていると伺っております。

○及川増徳会長

ぜひ希望を持って農業に就いた方々ですので、計画となかなか現実的に厳しい部分はあるかもしれないですが、ぜひこの経営体を支援しながら、遠野の一つのモデルにもなるような経営体になるように支援をしていただきたいと思います。

いずれ遠野の基幹産業でありますから、こういう若い方々が魅力を持って農業をやっていると、そういう姿が後輩たち次の世代の若い人たちに、いい影響を与えると思いますので、ぜひ成功事例となるように支援をお願いしたいと思います。

○及川増徳会長

赤坂委員、ご発言をどうぞ。

○赤坂委員

新型コロナ感染症の対策についてです。

先日、遠野まつりの中止を決めました。それから、郷土芸能協議会の方で、郷土芸能競演会をどの

ように進めるかということを検討している最中ですけれども、そこら辺を判断するのにいつも問題になってくるのは、遠野市内の感染状況の数値が分からないというのがあります。

2月の遠野物語ファンタジーを開催した時までは、確か遠野市の数字が、確実なところが分かっていて、噂話がいっぱいあったのですが、噂ではなくて、きちんとした数字が出てきていて、これは開催できると、できないなと判断がしやすかったです。

3月、4月あたりになってくると中部保健所管内というのは遠野らしい、みたいな話で遠野のものかどうか分からないというのが、たくさん出てきました。遠野まつりの判断をする際にも、遠野市の担当者と協議しても、行政のほうでも保健所の方が明らかにしていないということで、実数をつかめてないというようなニュアンスの話をされたのですが、対策本部の方でその辺の数値を、きちんととる必要があるのではと思っておりました。

なかなか聞きづらいことではあるのですが、いろんな噂が出てきて迷惑を被ってる企業とか事業者もあれば、自ら公表して地域に安心感を与えてる企業もあるという中で、やはり、対策室などで責任を持って聞いて、個人情報もきちんと管理して、市民に責任ある数値を提供する必要があると思うのですが、現在どんな感じになっているのか確認したいと思います。

○経営管理担当部長

コロナ対策室長も兼ねておりますので、私からお答えさせていただきます。

この中部保健所管内とか、その居住地の公表につきましては、岩手県の方、あるいは患者さんの情報の全てのことについては、保健所で管理しております。保健所で、その患者さんに確認をし、居住地なり職業等を公表してもいいですよと確認された方のみ、保健所あるいは県の方から居住地とか職業、会社員とかというかたちで公表されることになっております。ご本人が公表を承諾しない場合は、あくまでも何々保健所管内というような形でしか県の方では公表しておりません。

遠野市の方で、それを超えて公表するということはできませんので、ご理解をお願いします。県に対して、正式な要望等ではないのですが、担当者の方、担当部長には、そのような市民の声も多いと。保健所ではなくて市町村名で公表してもらいたいという声もあるという形で伺いました。やはり、県の方にもそういう問い合わせなりは、たくさん来ているが、やはり国の公表基準でも居住地については必ずしも公表する項目にはなっていないので、あくまでも患者さんが公表を承諾していない場合は公表できない、という回答でした。

なお、様々なイベントを開催するにあたって、近くに感染者がいることを前提として、そういうことを考えながら対策を行い、イベントを行っていただくことが大切だと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○赤坂委員

これは私個人の意見ですけが、県とか国の立場も分かるし、そこは公表できないというのは、まずそれは仕方がない話だとは思うのですが、やはり、自治体が責任持って調べていかないと、本当に噂ばかりで、実態が分からないというのが実際です。近所の情報とか、親戚の情報とかが 1 人歩きして、イベントやるときの障害になっています。やはり、できる限り市町村の方で手を打って考えてもらいたいと思います。

おそらく、そこら辺のところはご理解いただきたいと言われても、モヤモヤした気持ちがずっと残っていて、結局いろいろなイベント自体は、先程説明がありましたとおり、コロナ患者、感染者がそ

こにいるということを前提にしてやりましょうということでは、無理かなという話にしかなりません。もちろん、感染者がいても拡大させないというのは前提ですが、先行きが暗いかなと思います。

〇経営管理担当部長

個人の考えとしての、そのお考えは理解いたします。ただ先程申しあげましたとおり、その公表等につきましては、できないことについては、申し訳ありませんがご理解をお願いします。

ただ、私どもも何もしていないということではありません。いろいろな情報を集めながら、あるいはそのイベントの開催につきましても、できるだけ単純に中止ではなくて、いろいろ工夫をしながら開催ができる道等を探しているところです。

先日の遠野まつりの会議でも、保健師も参加して注意いただきたい点等について詳しく説明を申し上げたところです。それも中止をして欲しいということではなく、開催する場合はこういう形で対策を取った上で開催すれば、感染が拡大しないですみますよ、という意図で出席をさせていただき、説明をしたところもございます。

近くで感染が発生すれば、中止したいというようなお気持ち、そういう声もあるというのも重々承知しておりますが、ここは国県の方針とか、個人の方が感染者の方が公表を承諾していないというようなことから、できない状況です。

〇及川増徳会長

このコロナ感染者やその家族が、誹謗中傷とかを受ける事例も報道されておりますし、私たちもいろいろと知りたい情報とか、感染予防のための必要な情報もたくさんあると思います。冷静に、また悩みながら、当分はこのコロナと向き合っていかなければならないという状況にあるんだなと感じております。他には。

〇佐々木栄洋委員

今ご発言のあった件についてですが、出せる情報、出せない情報はその通りだと思いますので、新たな情報を出すことは無理だろうと思います。

正しい情報をある程度把握されているとは思いますので、その中で、遠野市としてある程度のシグナルというか、例えば、今イベントの話が出ましたけれどもイベントの開催を控えて欲しいという状況から、開催方法を工夫して検討して欲しいとか、そのような、ある程度の許される範囲とかの情報を、少し整理して出すという方法も一つのように思います。

〇経営管理担当部長

情報につきましては、出せる部分については、これまでもお出ししている状況です。私たちも県から提供いただく情報というのは非常に限定的で、報道されている以上の情報は入ってきていないというのが正直なところです。

ただ、そのイベントの開催の判断等につきましては、担当課から相談を受ける場合もございますし、できるだけ中止だけではなくて、開催するためにはこういう工夫をしてやっていく方がいいですよ、というようなところです。

遠野テレビでも、感染対策については毎日放送させてはいただいておりますが、他にも市民の方、あるいはそのイベント開催等の判断のために必要な情報等ございましたら、今後もただ今のご意見

を参考にしながら出していきたいと思いますのでよろしくお願いします。

〇及川増徳会長

中学校の標準学力検査偏差値がありますが、令和2年度は概ね達成、そして5年間は達成という評価になっております。この中で、令和2年度はこの5年の中でも47.8と低い水準の結果であります。

そして成果評価を見ますと、授業改善がより充実するよう努めるとの記述がされています。やはり指導する側は、これまでも、また令和2年度においても、いろいろな施策を講じながら指導体制を強化しているわけですが、少なくてもこの数値から見る限りにおいては、良い数字で出ていないと思うのです。指導する側の努力はその通りですが、学習指導要領で全国の学校での勉強時間は同じですので、指導力の差が多少あったとしても、低迷することはないのではと勝手に想像しているわけです。

そこで、教わる側の生徒の方の努力といいますか、そこが最大のポイントではと思うんです。

一生懸命、先生方や学校が取り組んでも、学習者側においてその努力がなければ結果は出てこないと私は思います。ついては中学生の家庭学習ですが、宿題も含めて学習時間の状況は、どうなっていますか。

〇教育部長

中学校の学力の部分の指標ですが、先程ありましたとおり令和2年度は8パーセント届かなかったことで概ね達成、5カ年では100.4で達成となっているところですが、ここは会長の方からも、そもそも目標値を確認すべきだということで、昨年度の審議会の中でもいろいろご意見をいただいたところです。

今の後期基本計画には目標値を50目指すという部分から、家庭学習充実という部分につきましては記載してきました。なお、ここの評価のところにありますように、この指標だけではなくて、いわゆる知能と学力の相関関係部分の数値を持っており、中学校は5年間で71%から84パーセントに改善していくような実績もございます。今ありました学習時間については、今、資料がありませんのでお答えできません。

〇及川増徳会長

分科会でもいろいろ議論しました。そして、全国で二時間以上勉強しているのは全体の35パーセントです。ところが岩手県は20パーセント。15ポイントの開きがある。だから岩手県の学力テストの結果も、47都道府県の中でも低い方ですよと、いう指摘をしました。

その中で遠野のデーターが出ていないので、やはりここがポイントではないかと、分科会でも議論をいたしました。今は非常に残念です。やはり、将来に関わるいろいろな能力は、人間にとって必要なわけですが、とりわけ学力という部分は共通して、これからの人生にも人材という観点からも極めて重要で、指導者は一生懸命するが、受け手の生徒がこの状態というのは、おそらく岩手県下でも低い水準ではないかと想像します。

だから分科会でもかなり議論しました、ぜひ家庭学習の部分がどうなってるのか、私はそこがポイントだと思うのですが、家庭学習の遠野の状況を今持ち合わせていないということで極めて残念です。ぜひ分析して、先生方の努力だけではなくて子供たちにも努力させると、そういう努力が相まって結果が出るとそのようにと思います。

〇及川増徳会長

続いて、重要業績評価指標に関わってありましたらお願いします。

無いようですので、審議事項の１番と２番、については先程説明があり資料を配布もありましたがこの内容で確認をさせていただくことでよろしいでしょうか。

異議なし、というような受け止め方を会長の方でいたしました。それでは次第のその他に入ります。

〇政策担当課長

次回の総合計画審議会は、来年の 3 月ごろの開催を予定しています。日程に関しましては、会長とも改めて協議させていただき、皆様にご案内いたしますのでよろしくお願いします。

〇及川増徳会長

その他、皆さんの方から、ございませんか。

〇三浦委員

今日、県の方で緊急事態宣言を独自で出すとのことですが、ＳＬ銀河が走ります。12 月ごろまでを目途に走るということで聞いておりました。今日の緊急事態宣言でどうなるか分からないですが、いずれ、観光客を呼び込むため、内部でもいろいろ努力はしておりますので、ぜひ皆さんにも見ていただくとかご協力いただきたいと思います。よろしくお願いします。

〇及川増徳会長

他には無いようでありますので、その他を閉じさせてもらいます。

私のほうから一言、御礼のあいさつをさせていただきたいと思います。

本田市長は、来たる 10 月 22 日の任期満了をもって勇退するということが既に報道されております。あと 2 カ月ほどとなりましたが、このあと本田市長任期中での審議会開催の予定はないということであります。よって本田市長の下での審議会は今日が最後ということになるわけでございます。本田市長は平成 14 年 4 月から 19 年、遠野市のトップリーダーとして市政課題に全力で取り組み、数多くの成果を上げられ、しかもそれら多くが市内はもとより、全国から注目され高い関心と評価を寄せられているものが数多くあげられます。

どぶろく特区、市村合併、ネットゆりかご、医師確保、遠隔医療、遠野物語 100 周年、東日本大震災の後方支援活動、高校再編への取組、こども本の森等、20 年近くの市長としての激務に奮闘されましたことに心から御礼を申し上げ、また数多くの成果を導いていただきましたことに心より敬意を表し、感謝を申し上げる次第であります。

この中で気の抜けない毎日が続くかと思いますが、退職後はまだ少し早いわけでありますが、どうぞご健勝で新たなフィールドでのご活躍をご期待申し上げ、感謝の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

〇総務企画部長

会長、進行ありがとうございました。ここで市長からご挨拶を申し上げます。

○本田市長

皆さん大変ご苦労様でございます。令和3年度の第1回の総合計画審議会、このように各分野を代表する委員の皆様が集まっての活発な議論を展開いただきました。平成28年から令和2年度までの前期5カ年計画、今日5カ年を総括した数字等をいろいろお示しすることができました。冒頭申し上げましたとおり、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、数字的には目的は達成できませんでしたが、それぞれ市民が一丸となってがんばったという数字がその中には見えていると思います。

さらには、及川会長を中心といたしまして、令和3年度を初年度とし令和7年度までの後期5カ年計画を、分化会を立ち上げまして、大変濃密な議論を展開いただきました。それが、総合計画後期5カ年計画という中にまとめることができました。心から感謝と御礼を申し上げたいと思っております。

総合計画審議会は、遠野市にとっては一番上位の審議会であります。そういった中におきまして、今日ご報告申し上げ、あるいはご説明申し上げたことを踏まえまして、この 9 月定例市議会でもって、令和2年度の決算審査が行われます。また、総合計画の後期5カ年計画の初年度として様々なものを予算化しながらきちんとスピードとタイミングを間違わないように、市民の皆様の負託に応えていかなければならない。そのような大きな責務があるわけであります。

そしてもう一方におきましては、新型コロナウイルス感染症とも文字通り真正面から向き合いながら、この戦いを乗り越えなければなりません。そのためには市民の皆様の、まさに総合力という力がなければ向き合うことができません。そのようなことを思っているわけであります。

そして、ただ今は及川会長から大変過分なお言葉を賜りました。この約20年、平成の大合併の時代の流れにおいて、新遠野市というものをスタートさせることができました。遠野と宮守は一つなんだ、そのような気持ちの中で、向き合ってまいりました。あっというまでありました。10月22日には、この市長としての役目が終了するというカウントダウンが始まっております。しかし、終了するからといって興味を失うわけにいきません。毎日が全力投球で市民の皆様の負託に応えて、安心安全、命の健康と暮らしを守るという、そのような対応は市長としての責務であり役目であります。全力で向き合うということは、当然であります。しかし、間違いなく10月22日という時が来ると、この職を離れることになるわけであります。これは現実であります。

しかし、皆さんのおかげで、そして遠野市職員も懸命にがんばっております、このコロナウイルスのワクチン接種の問題等で、チームワクチンという組織を立ち上げました。みんなで連携して全庁あげて対応しようと。ある市民の皆さんから、通りを歩いていたら声をかけられました。市長さん、今ワクチン打ってきたよっていう声をかけられました。本当に心配で行ったんだけども職員の皆さんが温かい笑顔で一つ一つ丁寧に説明をし、何の心配もなくワクチンを受けることができましたよ、感謝しております、というような声をかけられました。本当にうれしく思いました。やはりこれが行政の一つのあり方であり、気持ちがしっかりと市民と通じ合うってことではないのかなと、私はその言葉から感じとったわけであります。ワクチンを打てば安心だというだけではない。それぞれが思いやりのある言葉、そしてまた心遣いのある言葉、そしてまた優しい対応といったものの中に、市民の皆様の負託に応えるというそのような姿が職員の中にもあったということについて、私は繰り返しますけども嬉しく思っております。

このようにしっかりと市民の皆様と、気持ちを通じ心を通じ、そして様々な課題に、お互いもちつもたれつの関係が、市民協働という仕組みになるのではないのかなというに思っておりますので、委員の皆様にはそのようことを踏まえながらも、これから確実に遠野の底力を、全国にさらには世界に

発信できるようなそのような恵まれた環境にあるわけでございますので、それをしっかり連携と、まさに気持ちを通じ合いながら対応することが大事ではないのかなと思っておりますので、改めてよろしくお願いを申し上げたいと思っております。

昨日、県の市長会がありました。年に二回あります。一回目は盛岡で、二回目は各市が持ち回りということになっております。全員揃うことはなかなかないわけですが、昨日は全員揃いました。その中で自然発生的に、この任期を持って退任をする3人の市長からあいさつをする機会がありました。大変盛り上がりました。

先程、及川会長さんからお話しがありましたとおり、皆様とこうして向き合うのは、今日が最後になります。そのような中におきまして、皆様と真っ正面から向き合いながら懸命な議論をし、これからの遠野をどうするかということにつきまして、様々な建設的な意見を述べあい、そしてまたこうしようではないか、こうすべきだった、市役所の職員もしっかりしろ、という叱咤激励を頂く中で、職員も、そうなんだと、市民の皆様はこういう声なんだ、がんばらなければならないんだということになり、まさに話し合い行うことができたと思っております。

遠野は、大変な力を持っております。遠野には場の力がある。この場の力をやはり生かす、そしてまたそれをしっかりと市民の皆さんと一緒に発信し続けるということが、遠野の活性化につながるのではないかなと思っています。

最後になりますけども、今日、パラリンピックの採火式が市役所正面玄関であります。違いを知る、違いを尊重する、違いとつながるというその言葉、共生社会はこれからますます大事になってくるのではないでしょうか。

少子高齢化・人口減少の中において、共生社会という理念等を具現化していくことが、やはりこれから求められていると思っております。一方においては、オリンピックが幕を閉じました。様々な課題がありました。そういった中におきまして、日本のふるさと遠野まつり、遠野によっては最大のイベントであります。地域が、住民が、幼い子供からお年寄りまで、多くの市民の皆さんは舞い踊るという、そのような市民の総合力を示すようなお祭り、残念ですけども、コロナが邪魔をいたしました。今年も、やむを得ず中止せざるを得なくなりました。しかし皆さん、来年は、この日本のふるさと遠野まつりが始まって50年という大きな節目であります。来年の、この祭り始まって50年という節目において、この2年間というものを吹き飛ばす大きな力、そのようなお祭りに持っていきたい、また持っていかなければならない。そのためには、やはり市民が一丸となって目的に力を合わせることが大事ではないのかなと思っております。

そのことを最後にお願いしまして、及川会長さんから大変過分なお話しをいただきました。心から感謝とお礼を申し上げたいと思っております。また委員の皆様にも、ほんとに真剣に、そしてまたひたむきに真っ正面から向き合っていただいて、様々なご意見をいただいたことに、心から感謝とお礼を申し上げたいと思っております。

ありがとうございました。

○総務企画部長

以上を持ちまして、令和3年度第1回遠野市総合計画審議会を閉会いたします。大変ご苦労様でした。